



すずき たかし 議員
鈴木 隆司

総合運動公園用地の利活用は？

利活用検討委員会を組織する

3大プロジェクトの

概要と取り組みについて

- 鈴木 第6次町づくり総合計画で予定されている3大プロジェクト、
- ① 総合運動公園用地利活用事業
 - ② 道の駅推進事業
 - ③ 矢吹駅周辺地区都市再生整備計画事業
- について、28年度の取り組み方、方向性と戦略及び財源について伺う。

町長 仮称「旧総合運動公園用地利活用検討委員会」を組織して、基本構想の検討、策定する為3百万円予算化をした。当該用地は町の中央に位置し、自然豊かで交通アクセスにも恵まれ、あらゆる可能性を秘めている。

る。真に町民の利益に繋がる事業になるよう最大限の努力を費やしたい。

道の駅については仮称「道の駅やぶき検討委員会」を立ち上げ、基本構想を中心に検討を進めており、年度内には候補地を決定したい。一体型整備で町では直売所やレストラン、駐車場整備等を致します。

町長 仮称「旧総合運動公園用地利活用検討委員会」を組織して、基本構想の検討、策定する為3百万円予算化をした。当該用地は町の中央に位置し、自然豊かで交通アクセスにも恵まれ、あらゆる可能性を秘めている。

「新しい矢吹」まちづくりの方針について

鈴木 「日本3大開拓地の特徴を活かすまちづくり」について、その方向性を選択した理由。今後の取り組みと、まちづくりの具体的なビジョンを伺う。また、財源等の確保についての計画予定、考え方について伺いたい。

町長 復興を果たす為には、日本三大開拓地であることを再認識し、これを誇りに先人たちに倣い、開拓精神でまちづくりを行う必要性を感じている。

災害公営住宅の入居状況と入居計画について

鈴木 プロジェクトを立ち上げ今年度は基本デザインを策定し、小学生向け冊子等の作成、PR用看板の設置を予定している。更にプロジェクト映像の作成やイベントを開催したい。財源は補助事業を予定している。

町長 新たな資源発掘と活用については、人が地域資源であることを認識し人材活用を念頭にまちづくりの理念を取りまとめ、協働の街づくりを目指している。

復興・まちづくりとして『日本三大開拓地』を掲げアグリミュージアム

災害公営住宅の入居状況と入居計画について

鈴木 現在の入居状況と、今後の入居計画について伺う。

町長 2月末現在、昨年7月に完成した中畑地区は4戸完成し2戸が入居しております。1月に完成の中町第1は14戸完成し4世帯入居となっております。商工会跡地の中町第2地区、戸数23戸、

山口靴店跡地の中町第3地区11戸については4月下旬以降の入居予定となっている。

今後の入居については、3月1日現在、応急仮設住宅の56世帯と民間借り上げ住宅の38世帯の方々が被災者支援制度の終了する29年3月には入居申込みがなされると考えている。



中町第1災害公営住宅

町政を問う(一般質問)